

(様式 1-3)

福島県(葛尾村) 帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票
令和7年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	69	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業(復興整備実施計画) 野川・上野川第2地区		事業番号	(5)-40-4
交付団体		葛尾村	事業実施主体(直接/間接)		葛尾村(直接)	
総交付対象事業費		11,535(千円)		全体事業費	11,535(千円)	
帰還・移住等環境整備に関する目標(今回実施対象事業費:11,535千円(国費11,535千円))						
葛尾村では、原発事故のため全住民が避難したことにより、村内での農地及び水利施設の維持管理ができない期間が長期間となった。平成28年6月一部地域を除き、避難指示が解除されたものの、現在も住民帰還が進まず、共同利用施設の水路や頭首工の管理も適切に行えない状況であったため、営農再開も目標値(R6年度末目標85haに対し実績62haで73%の再開率)に届いていない状況である。目標未達成の要因として、未整備の農地や水利施設があり、作業効率が悪く営農再開につながりにくい状況であるため、ほ場整備を促進し、担い手農家への利用集積を図り、営農再開及び営農継続を図り、作付面積の拡大とともに農業環境を改善していく。さらに、村民の帰村促進にもつなげて、担い手を始めとする農業人口の拡大により地域及び村の農業振興、地域再生を図ることを目標とする。						
事業概要						
本地区は、上述のとおり、営農再開が伸び悩んでいる状況でいるが、地域農業の復興を目指し、営農再開の意欲が強い農家もあり、基盤整備の実施により農業生産性の向上、農作業の協業化、担い手への農地集積を促進することを目指している。 ※本事業実施内容 1. 基盤整備に係る調査測量設計 【葛尾村農業再生アクションプラン】 P.1 「担い手」 担い手の育成、担い手への集積 ・農地集積と基盤整備による効率的な営農環境の実現 P.2. 「稲作振興」 震災前の稲作面積の回復を目標 ・基盤整備、担い手への農地集積による経営体制強化						
当面の事業概要						
＜令和7年度＞ 調査測量設計						
＜令和8年度＞ 調査測量設計						
地域の帰還・移住等環境整備との関係						
本事業導入によって、本格的な営農再開に向け未整備水田等の整備を行うことで、住民の帰還を促進し、営農再開及び継続的営農による地域の農業振興並びに地域再生を図る。						
関連する事業の概要						
特になし						

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	

交付団体	
基幹事業との関連性	